



## 平成29年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月15日

上場会社名 あいホールディングス株式会社  
 コード番号 3076 URL <http://www.aiholdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐々木 秀吉  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉田 周二  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3249-6335

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	38,737	5.0	6,753	7.8	7,000	8.1	4,702	5.8
28年6月期第3四半期	36,885	19.7	6,267	13.3	6,477	△3.2	4,443	0.1

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 5,143百万円 (43.0%) 28年6月期第3四半期 3,596百万円 (△22.8%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年6月期第3四半期	99.30		—	
28年6月期第3四半期	93.83		—	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円	銭	
29年6月期第3四半期	54,700		37,714		68.9	796.32		
28年6月期	49,142		34,138		69.4	720.81		

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 37,694百万円 28年6月期 34,111百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
28年6月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年6月期	—	18.00	—		
29年6月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	54,500	11.7	9,100	11.8	9,300	11.2	6,300	9.3	133.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期3Q	56,590,410 株	28年6月期	56,590,410 株
29年6月期3Q	9,229,957 株	28年6月期	9,229,228 株
29年6月期3Q	47,360,797 株	28年6月期3Q	47,361,881 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得情勢の改善等により穏やかな回復基調が継続しました。一方、海外において、米国経済は堅調な個人消費に支えられて穏やかな拡大基調で推移いたしましたが、米国新政権の政策運営や中国及びアジア新興国の地政学リスクなど、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は387億3千7百万円（前年同四半期比5.0%増）となり、営業利益は67億5千3百万円（前年同四半期比7.8%増）、経常利益は70億円（前年同四半期比8.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は47億2百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、セキュリティシステムの販売が引き続き堅調に推移したことや新製品投入の効果等により、売上高は89億8千8百万円（前年同四半期比6.4%増）、セグメント利益は33億5千9百万円（前年同四半期比14.7%増）となりました。

## ② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他事務用機器につきましては、鉄骨業界向けの専用CADソフトの販売が引き続き好調に推移したものの、NBS Technologies Inc.の販売の減少と販売経費の増加等により、売上高は37億5千3百万円（前年同四半期比11.2%減）、セグメント利益は5億1千4百万円（前年同四半期比18.5%減）となりました。

## ③ 保守サービス

保守サービスにつきましては、売上高は12億5千万円（前年同四半期と同額）、セグメント利益は5千3百万円（前年同四半期比58.1%減）となりました。

## ④ 情報機器

情報機器につきましては、海外市場におけるコンシューマ向け小型カッティングマシンの販売が好調に推移したものの、円高の影響により売上高は119億5千7百万円（前年同四半期比0.4%増）、セグメント利益は16億6百万円（前年同四半期比2.7%増）となりました。

## ⑤ 計測機器及び環境試験装置

計測機器及び環境試験装置につきましては、環境試験装置の受注減少により、売上高は16億4千2百万円（前年同四半期比8.3%減）となったものの、計測機器の収益性が改善したことによりセグメント利益は2億1千9百万円（前年同四半期比37.1%増）となりました。

## ⑥ 設計事業

設計事業につきましては、受注案件が堅調に推移したこと等により、売上高は39億1千3百万円（前年同四半期比3.6%増）となったものの、外注原価の増加等によりセグメント利益は6億4千万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

## ⑦ リース及び割賦事業

リース及び割賦事業につきましては、売上高は60億1千8百万円（前年同四半期比20.3%増）、セグメント利益は1億3千6百万円（前年同四半期比48.1%増）となりました。

## ⑧ その他

その他につきましては、売上高は12億1千1百万円（前年同四半期比154.0%増）、セグメント利益は1億9千9百万円（前年同四半期比84.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して55億5千8百万円増加し、547億円となりました。主な要因は、流動資産の受取手形及び売掛金12億4千1百万円増加、リース投資資産22億2千9百万円増加、投資その他の資産の投資有価証券12億8千万円増加等であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して19億8千2百万円増加し、169億8千6百万円となりました。主な要因は、流動負債のリース債務20億4千2百万円増加等であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して35億7千5百万円増加し、377億1千4百万円となりました。主な要因は、四半期純利益47億2百万円の計上、配当金15億6千2百万円の支払、為替換算調整勘定3億6千3百万円増加等であります。この結果、自己資本比率は68.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年8月19日付の「平成28年6月期決算短信」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,372	16,136
受取手形及び売掛金	7,711	8,952
リース投資資産	2,508	4,737
商品及び製品	5,987	5,000
仕掛品	225	372
未成工事支出金	173	171
原材料及び貯蔵品	817	913
その他	2,196	2,195
貸倒引当金	△49	△54
流動資産合計	34,944	38,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,295	1,258
土地	4,312	4,313
その他(純額)	1,145	1,218
有形固定資産合計	6,753	6,790
無形固定資産		
のれん	2,752	3,149
その他	230	276
無形固定資産合計	2,982	3,425
投資その他の資産		
投資有価証券	190	1,471
関係会社株式	2,868	2,994
その他	1,458	1,611
貸倒引当金	△55	△20
投資その他の資産合計	4,462	6,057
固定資産合計	14,198	16,273
資産合計	49,142	54,700

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,931	4,347
リース債務	2,259	4,302
未払法人税等	758	725
賞与引当金	123	484
製品保証引当金	11	1
受注損失引当金	4	4
その他	2,502	2,692
流動負債合計	10,591	12,560
固定負債		
リース債務	1,050	1,141
退職給付に係る負債	1,231	1,268
資産除去債務	8	8
その他	2,122	2,008
固定負債合計	4,413	4,426
負債合計	15,004	16,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	9,049	9,047
利益剰余金	25,701	28,841
自己株式	△4,696	△4,697
株主資本合計	35,055	38,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△43	24
為替換算調整勘定	△788	△424
退職給付に係る調整累計額	△112	△96
その他の包括利益累計額合計	△943	△496
非支配株主持分	26	19
純資産合計	34,138	37,714
負債純資産合計	49,142	54,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)
売上高	36,885	38,737
売上原価	21,760	23,025
売上総利益	15,125	15,712
販売費及び一般管理費		
役員報酬	239	245
給料及び手当	2,921	2,952
賞与	330	373
賞与引当金繰入額	351	349
退職給付費用	134	155
その他	4,880	4,882
販売費及び一般管理費合計	8,858	8,958
営業利益	6,267	6,753
営業外収益		
受取利息	13	2
受取配当金	0	1
持分法による投資利益	235	220
為替差益	—	32
受取賃貸料	38	0
その他	13	36
営業外収益合計	301	292
営業外費用		
支払利息	7	8
為替差損	36	—
貸倒引当金繰入額	39	0
租税公課	—	21
雑損失	3	10
その他	3	5
営業外費用合計	91	45
経常利益	6,477	7,000
特別利益		
投資有価証券売却益	34	—
子会社株式売却益	37	—
貸倒引当金戻入額	109	—
債務免除益	—	119
特別利益合計	180	119
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	3	—
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	6,655	7,119
法人税、住民税及び事業税	2,411	2,642
法人税等調整額	△199	△219
法人税等合計	2,211	2,422
四半期純利益	4,443	4,696
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,443	4,702



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益	4,443	4,696
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90	57
為替換算調整勘定	△633	467
退職給付に係る調整額	△7	15
持分法適用会社に対する持分相当額	△115	△94
その他の包括利益合計	△847	446
四半期包括利益	3,596	5,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,596	5,149
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	保守 サービス	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高											
外部顧客へ の売上高	8,448	4,224	1,250	11,909	1,791	3,778	5,003	36,407	476	1	36,885
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	200	78	19	28	—	—	12	339	—	△339	—
計	8,649	4,303	1,269	11,938	1,791	3,778	5,016	36,747	476	△339	36,885
セグメント 利益	2,928	631	127	1,564	159	647	92	6,150	108	8	6,267

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダーの製造・販売及びソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額8百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益6百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	保守 サービス	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高											
外部顧客へ の売上高	8,988	3,753	1,250	11,957	1,642	3,913	6,018	37,524	1,211	1	38,737
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	230	80	22	40	—	0	11	385	104	△489	—
計	9,219	3,833	1,272	11,997	1,642	3,913	6,030	37,910	1,315	△488	38,737
セグメント 利益	3,359	514	53	1,606	219	640	136	6,529	199	23	6,753

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダー及び自動おしぼり製造機の製造・販売、及び、ソフトウェアの開発・販売等を行っております。
2. セグメント利益の調整額23百万円には、セグメント間取引消去△37百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益60百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。